事項	リンゴ黒点病に対する主要品種の感受性				
ねらい	リンゴ黒点病の発生は品種によって違いがみられるが、現在、栽培されている主要品種の感受性を明らかにしたので、防除対策上の参考に供する。				
	1 主要品種の感受性				
指	感受性の程度	品種			
	「紅玉」より発生しやすい	陸奥、つがる			
	「紅玉」と同等~やや発生しにくい	ジョナゴールド、王林			
道	「紅玉」より発生しにくい	ふじ、スターキングデリシャス			
参	2 品種によって黒点病に対する感受性 も発病するので、散布時期と散布量を守	に差異が認められるが、いずれの品種 守る。			
考					
内					
容					
期待される効果	適切な防除指導の参考となる。				
利用上の注意事項					
担 当	青森県りんご試験場県南果樹研究センター 病虫肥料	一 対 象 地 域 県卜全域			
発表文献等	平成13年度 青森県りんご試験場県南果樹	對研究センター試験成績概要集			

【根拠となった主要な試験結果】

表1 リンゴ黒点病に対する各品種の感受性 (平成13年 青森りんご試県南果研セ)

品種	調査果数(果)	発病果率(%)	発 病 度	1果当たり病斑数
陸奥	32	100	76.0	16.8
つがる	23	95.7	66.7	14.2
紅玉	122	90.2	53.0	8.7
ジョナゴールド	100	87.0	47.7	7.8
王林	120	76.7	39.4	5.9
ふじ	95	65.6	29.8	3.2
スターキングデリシャス	44	13.6	4.5	0.4

- (注)1 落花直後~落花30日後頃、無防除
 - 2 調査月日:8月22日~9月6日、場所:五戸町扇田(県南果樹研究センターほ場) 3 発病度とは発病のしやすさを表す数値で以下の式で求める。

 $\frac{\Sigma (指数に該当する果数×指数)}{3 \times$ 調査果数 $\times 100$ 指数 0 :発病がないもの 1 :病斑数が $1 \sim 5$ 4 :病斑数が16以上

表 2 リンゴ黒点病菌接種による発病状況

(平成13年 青森りんご試県南果研セ)

区	品 種	供試果数	発病果数	1 果当たり病斑数
	紅玉	8	8	182.9
A ほ場	ジョナゴールド	10	10	72.6
	王林	10	10	30.3
	ふじ	10	10	22.1
Bほ場	つがる	10	10	281.3
	ふじ	10	10	71.9

- (注)1 調査ほ場:県南果樹研究センターほ場、接種:6月14日、調査:8月21日
 - 2 接種方法:分生子懸濁液 (5~6×10⁵ 個/mℓ) 噴霧接種

表 3 現地ほ場における黒点病の発病状況

(平成13年 青森りんご試県南果研セ)

調 査 園 地(調査月日)	品 種	調査果数(果)	発病果率(%)	発 病 度
	紅玉	300	32.0	13.6
五戸町浅水	ジョナゴールド	300	28.7	11.6
(9月28日)	王林	300	37.2	15.2
(3), ====,	ふじ	300	16.7	6.1
	陸奥	40	37.5	15.0
倉石村石沢 A	紅玉	150	21.3	7.6
(10月3日)	王林	150	15.3	5.1
(==,,, ==,	ふじ	150	7.3	2.4
	陸奥	100	26.0	9.0
倉石村石沢 B	紅玉	150	18.7	7.5
(10月3日)	ジョナゴールド	50	24.0	10.7
(==,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	王林	150	19.3	6.7
<u></u> 倉石村舘町	紅玉	150	38.7	14.7
	王林	150	18.7	6.4
(10月3日)	ふじ	150	14.7	4.9
倉石村長坂	紅玉	200	6.0	2.5
	王林	200	9.0	3.2
(10月10日)	ふじ	200	5.0	1.7